

岸和田市交通まちづくりアクションプラン
令和 6 年度進捗状況

地域公共交通計画編

令和 7 年度第 2 回岸和田市地域公共交通協議会
令和 7 年10月24日（金）

< 照会先一覧 >

庁内	企画課
	自治振興課
	総務管財課
	生涯学習課
	都市整備課
	道路整備課
	建設管理課
	スポーツ振興課
	学校管理課
	環境保全課
	観光課
	産業振興課
	農林水産課
庁外	公営競技事業所
	西日本旅客鉄道(株)
	南海電気鉄道(株)
	南海ウイングバス(株)
	岸和田交通(株)
	岸和田警察
	岸和田土木事務所
	平成エンタープライズ

令和7年6月19日

関係各機関所属長 様

岸和田市まちづくり推進部
交通まちづくり課長

岸和田市交通まちづくりアクションプランの施策進捗管理について（照会）

平素は、本市の交通政策施策の推進にご協力いただき、厚くお礼申し上げます。

みだしのことについて、令和6年度の各関係機関での取り組み状況を別紙「交通まちづくりアクションプラン施策事業状況報告書」にてご回答をお願い致します。

※後日、別途個別にヒアリングをさせていただく可能性があります。

記

1. 回答期限 令和7年6月30日（月）
2. 回答方法 別紙回答シートによりメールでご回答ください
3. 添付資料 「総合交通戦略編の施策事業状況報告書」

【岸和田市交通まちづくりアクションプラン】

<https://www.city.kishiwada.lg.jp/page/129-action-plan-5hen-sakutei.html>

問合せ先
岸和田市
まちづくり推進部交通まちづくり課
担当：西村、公文
電話：072-423-9656

1. 交通まちづくりアクションプラン【地域公共交通編】とは

(1) 背景と目的等

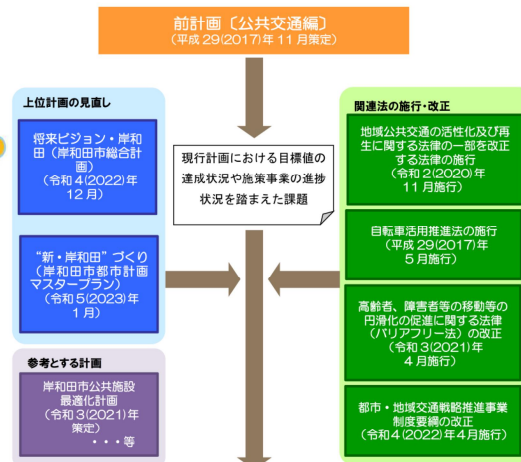
- 岸和田市まちづくりビジョン（第4次岸和田市総合計画）に掲げる目指すまちの姿を実現するために、岸和田市交通まちづくりアクションプラン【基本計画編】、【公共交通編】、【総合交通戦略編】、【自転車活用推進計画編】及び【バリアフリー基本構想編】を策定し、交通面からの施策を推進しています。
- 岸和田市まちづくりビジョン（第4次岸和田市総合計画）に合わせた計画終了年次を迎えるため、前計画を総括するとともに、地域旅客運送サービスの持続可能な提供を図るため、地方公共団体に策定が努力義務化された地域公共交通計画の要素を満たす計画として改訂します。
- 改訂する【地域公共交通計画編】の対象区域は、「岸和田市全域」とします。また、計画期間は、「将来ビジョン・岸和田（岸和田市総合計画）」や「「新・岸和田」づくり（都市計画マスタープラン）」との整合を図るため、2023年度～2034年度とします。

(2) 公共交通の果たすべき役割・位置付け

- 近年の人口減少の本格化、高齢者の運転免許の返納の増加、運転手不足の深刻化、コロナ禍を契機として「新たな生活様式（ニューノーマル）」の定着、公共交通を確保・維持するための公的負担の増加等により、公共交通の維持は容易ではなくなっています。
- これまで続いてきた「民間の交通事業者が収益を確保できる形で公共交通を担う」という構造が難しくなってきたなか、地方公共団体が中心となり、多様な関係者が連携することで、地域の暮らしと産業を支える移動手段を確保することがますます重要となっています。
- 地域における移動手段の維持・確保は、交通分野の課題解決にとどまらず、まちづくり、観光振興、健康、福祉、教育、環境等の様々な分野において多面的な効果が挙げられます。今後は、公共交通を支える意義を適切に評価し、多様な行政分野におけるコストの軽減に資する効果も定量的に分析していく必要があります。
- このような観点を踏まえつつ、「将来ビジョン・岸和田（岸和田市総合計画）基本構想」に掲げる目指すまちの姿を実現する中間的な戦略シナリオである第1期基本計画（計画年次：2023年～2026年）や「「新・岸和田」づくり（都市計画マスタープラン）」を踏まえた交通面からの施策を推進するために【地域公共交通計画編】を改訂します。

■ 公共交通の有する多面的な効果

■ 地域公共交通計画の位置付け

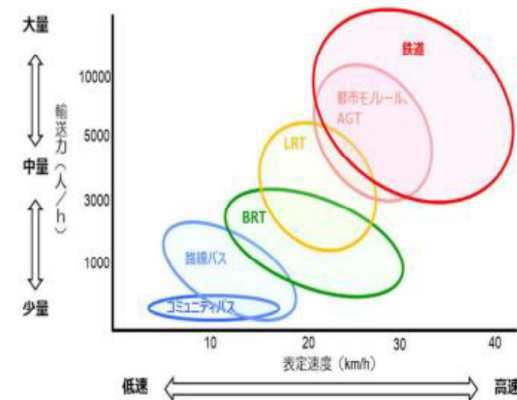


次期計画【地域公共交通計画編】
・これまで取り組んできた施策・事業の方向性を確認しつつ、新たな課題等に対応した「地域旅客運送サービスの持続可能な提供」を確保します。

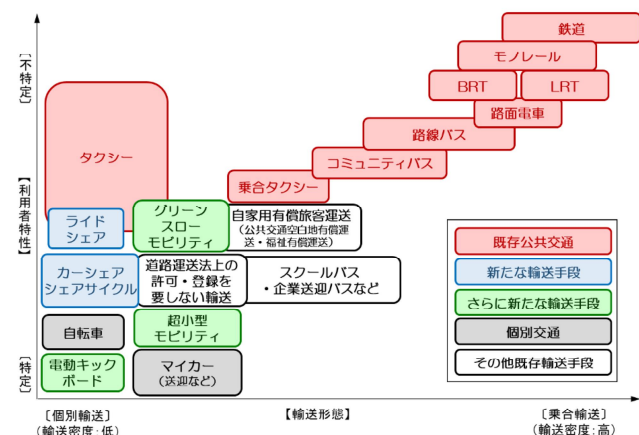
(3) 公共交通の考え方

本市の公共交通は、鉄道、路線バス（ローズバスを含む）、タクシーがあります。基幹公共交通軸を担う公共交通については、一定以上の速達性、定時性、輸送力が要求されます。
また、自家用車での移動が困難な高齢者や学生等を中心とした移動手段を持たない方の日常の移動手段確保、交通脆弱地域のニーズへの対応が強く求められています。地域交通における公共交通については、利用特性や輸送需要等から適切な輸送形態を組み合わせることで導入していく必要があります。

■ 都市交通における交通手段の適応範囲



■ 利用特性と輸送形態による公共交通手段の位置づけ



4. 目標達成に必要な施策

(1) 施策の体系

施策① 公共交通ネットワークの再編

施策② 路線バスのダイヤ改正・利便性向上

施策③ ローズバス*のダイヤ改正・利便性向上

施策④ バス等の乗り継ぎ利便性等を高める交通系ICカード*の普及促進

施策⑤ 新たなモビリティサービスの活用に向けた検討・導入

目標①
多様な世代の移動ニーズに対応した利用しやすい公共交通サービスの提供

施策⑥ 交通結節点等の整備等による乗継の機能強化

施策⑦ 公共交通情報の充実

施策⑧ 移動環境におけるバリアフリー化の推進

施策⑨ 鉄道路線間の連携

目標②
拠点機能向上と持続可能なまちづくりを支援する環境に配慮した公共交通環境の形成

施策⑩ 都市計画道路泉州山手線等の道路整備の推進

施策⑪ 高速バスの利便性向上

施策⑫ 来訪者にとっても利用しやすい公共交通情報の充実

目標③
市内外の交流の活発化による住みやすく、訪れて楽しいまちを支援する公共交通体系の構築

施策⑬ 地域住民主体による持続可能な運行を支える協働の仕組み

施策⑭ バス・タクシー乗務員の確保・支援

目標④
市民・交通事業者・行政によるつくり・支え合う持続可能な公共交通の整備

(2) 実施スケジュール

基本理念	目標	施策	実施主体				実施スケジュール		
			市民	事業者	市	その他関係機関	第1期 R5(2023) ～R8(2026)	第2期 R9(2027) ～R12(2030)	第3期 R13(2031) ～R16(2034)
元気に生活・活動し、安全・快適に移動のできる交通インフラの形成	目標① 多様な世代の移動ニーズに対応した利用しやすい公共交通サービスの提供	① 公共交通ネットワークの再編		○	○		拠点形成に合わせた再編	継続	継続
		② 路線バスのダイヤ改正・利便性向上		○	○		人流実態に合わせて実施	人流実態に合わせて実施	人流実態に合わせて実施
		③ ローズバスのダイヤ改正・利便性向上		○	○		ローズバスの改正	必要に応じて改正	必要に応じて改正
		④ バス等の乗り継ぎ利便性等を高める交通系ICカードの普及促進		○	○		普及促進の実施	磁気化への検証・改善・実施	継続
		⑤ 新たなモビリティサービスの活用に向けた検討・導入		○	○		事業者との検討・導入	継続	継続
	目標② 拠点機能向上と持続可能なまちづくりを支援する環境に配慮した公共交通環境の形成	⑥ 交通結節点等の整備等による乗継の機能強化		○	○		JR久米田駅前東側駅前交通広場整備ほかサイクル&バスライドバスまちスポット	拠点における交通結節点整備サイクル&バスライドバスまちスポット	継続
		⑦ 公共交通情報の充実		○	○		バスマップ等の充実	継続	継続
		⑧ 移動環境におけるバリアフリー化の推進		○	○	○	バス・バリアフリー検討鉄道トイレの改善	移動環境におけるバリアフリー化の推進	継続
		⑨ 鉄道路線間の連携		○			人流実態に合わせて実施	継続	継続
	目標③ 市内外の交流の活発化による住みやすく、訪れて楽しいまちを支援する公共交通体系の構築	⑩ 都市計画道路泉州山手線等の道路整備の推進		○	○	○	(都)泉州山手線事業推進	継続	継続
		⑪ 高速バスの利便性向上		○			路線の拡充に向けた検討	検討に基づく取組み	継続
		⑫ 来訪者にとっても利用しやすい公共交通情報の充実		○	○	○	スマホ利活用の検討	公共交通情報の充実	継続
	目標④ 市民・交通事業者・行政によるつくり・支え合う持続可能な公共交通の整備	⑬ 地域住民主体による持続可能な運行を支える協働の仕組み	○	○	○	○	自発的な公共交通の利用促進手法の検討	自発的な公共交通の利用促進手法の実践	継続
		⑭ バス・タクシー乗務員の確保・支援	○	○	○		既存活用研究	相乗タクシーの事例効果調査	相乗りタクシー導入検討

岸和田市交通まちづくりアクションプラン地域公共交通計画編 目標①の達成状況一覧表

基本理念:元気に生活・活動し、安全・快適に移動ができる交通インフラの形成

目標① 多様な世代の移動ニーズに対応した利用しやすい公共交通サービスの提供

施策		実施主体			令和6年度の実施計画		R6年度の取組状況	評価 (○△ー)	取組上の課題等	今後の 方向性	重点 施策	
		市民	事業者	市	関係 その他 機関	取組						実施計画・目標等
①	公共交通ネットワーク の再編		○	○		・広域連携軸の整備や拠点の 形成	・山手を支える広域連携軸および周 辺地域の整備	【市】 ・広域連携軸(泉州山手線)の整備や拠点の形成に合わせ て、広域交流拠点「山直東」地区東側の整備を進めるため の「準備組合」を設立	○	・泉州山手線の整備の進捗とまちづ くりとの連携 ・路線バスの利用促進	継続	★
						・地域拠点、広域交流拠点の形成	【市】 ・新拠点交通広場(山直東)の整備の一環として、自転車 駐輪場にスタンドを設置(サイクル&ライドの促進)	△	・交通広場の有効的な活用および自 転車駐輪場の周知			
						・公共交通ネットワークの再編	※下記の②を参照					
						・ローズバスの再編	※下記の③を参照					
②	路線バスのダイヤ改 正・利便性向上		○	○	○	・利便性向上に向けたダイヤ改 正	・利便性向上に向けたダイヤ編成	【事業者】 ・日中時間帯において、おおそパターンダイヤを導入	○		継続	
						・利用者ニーズに応じた路線再 編の検討・実施	・利用者ニーズに合わせた路線編成 の実施	【市】 ・山直線、福田線にて停留所を新設	○	－		
						・地域間幹線系統、地域内 フィーダー系統の確保・維持	・地域公共交通確保維持改善事業の 活用	【市】【その他関係機関】 ・路線の維持負担軽減のため、地域間幹線系統について 岸和田市交通まちづくりアクションプランへの位置付けを 行い、国へ地域公共交通確保維持改善事業を申請。	○	－		
③	ローズバスのダイヤ改 正・利便性向上		○	○		・ローズバスのルート再編	・両回りルート等の再編に向けた検 討、実施	【市】【事業者】 ・ローズバスのルート改正に向け、関係機関と協議を実施	△	・バス停の新設・廃止に伴う各関係 者協議、運行費用、ルートの選定	継続	★
④	バス等の乗り継ぎ利便 性等を高める交通系 ICカードの普及促進		○	○		・交通系ICカード利用による割 引制度の普及促進	・交通系 IC カードの普及促進およ びバス乗継割引サービスの周知	【市】 ・ローズバスパンフレットにて取組みを周知 【事業者】 ・交通系ICカード(ICOCA、Pitapa等)の周知宣伝、普 及促進に努める ・Pitapaでの割引サービスを継続	○	・専用ICカード「なっち」を廃止 ・交通系ICカードの縮小傾向 ・新たな決済ツールの登場	継続	
						・利便性の向上に向けたさらな る決済方法の導入	・現金・交通系ICカード以外の決済 方法の導入・拡大	【事業者】 ・クレジットカードでのタッチ決済やQRコード決済等の利 用可能駅を拡大	○	・将来的な高齢者対策やシステムエ ラー時対策(バックアップ)の検討・ 実施		
⑤	新たなモビリティサー ビスの活用に向けた検 討・導入		○	○		・先進技術や新たなモビリティ 等の活用に向けた検討	・次世代モビリティ等の導入検討	【市】 ・自動運転車両の導入へ向けて、山手地域にて実証運行 を実施	○	・交通分野と連携する他分野との連 携 ・本格実装までの課題解決および導 入・運行費用	継続	★
						・岸和田市スマートシティ構想 との連携	・岸和田市スマートシティ構想の策 定	【市】 ・「岸和田市スマートシティ構想」を策定するとともに、産 官学が連携するスマートシティ推進委員会を発足	○	－		
						・スマートシティの実現に向け た取組の推進	・「移動がスムーズなまちづくり」の 実現に向けた取組	【市】 ・愛彩ランドにモビリティポートを整備し、バスの運行状況 およびシェアサイクルの貸出情報を発信	○	－		
						・他分野との輸送サービスの連 携に向けた検討	・地域主体による生活交通導入支援 の仕組みづくり	【市民】 ・地域主体による生活交通の導入マニュアル作成にあた り、市内2地区(黄金塚、春木大芝)で実験運行を実施	○	・地域主体の生活交通における収支 率の向上		

○:実施又は進捗あり △:検討または一部進捗あり ー:進捗無し

★:岸和田市総合計画重点目標施策

岸和田市交通まちづくりアクションプラン地域公共交通計画編 目標②・③の達成状況一覧表

基本理念:元気に生活・活動し、安全・快適に移動ができる交通インフラの形成

目標② 拠点機能向上と持続可能なまちづくりを支援する環境に配慮した公共交通環境の形成

施策		実施主体				令和6年度の実施計画		R6年度の取組状況	評価 (○△ー)	取組上の課題等	今後の 方向性	重点 施策
		市民	事業者	市	関係機関	取組	実施計画・目標等					
⑥	交通結節点等の整備等による乗継の機能強化	○	○		・駅前広場の整備推進	・JR久米田駅前東側交通広場の整備推進	【市】 ・駅前広場整備推進に向けたJR久米田駅前東側の用地交渉	○	・駅前広場の整備に係る合意形成、および移転先・代替地の確保	継続	★	
					・拠点における都市交通施設の整備	・都市計画道路泉州山手線の道路整備進捗に合わせた周辺整備整備	【市】 ・都市計画道路泉州山手線の延伸に合わせた周辺整備へ向けて、「岸和田市山直東まちづくり基本構想および基本計画」を策定	○	—			
					・サイクル&バスライド環境の整備	・交通結節点及びバス停周辺への駐輪空間の整備	【市】 ・新拠点交通広場(山直東)において、自転車駐輪場にスタンドを設置(R5)	○	・自転車駐輪場の周知 ・交通広場移転先の用地交渉 ・新拠点交通広場(山直東)の利用促進、機能強化			
⑦	公共交通情報の充実	○	○		・公共交通案内マップ等の作成	・ローズバスのバスマップ作製・配布	【市】【事業者】 ・ローズバスパンフレットの作製及び配布を実施	○	・利用者への周知の継続	継続		
						・スマートフォンアプリ等による情報提供の周知	【事業者】 ・スマートフォンアプリ等による情報提供(Bus-Vision for南海バス株の活用)の周知を実施(R5)	○				
					・スマートフォンアプリ等を活用した情報提供	・バス停でのバス位置情報の提供	【市】【事業者】 ・愛彩ランドおよび市民病院にてデジタルサイネージを活用した情報の提供 【事業者】 ・路線バス停留所の時刻表にバスロケーションシステムのQRコードを掲示(R5)	○				
⑧	移動環境におけるバリアフリー化の推進	○	○	○	・交通バリアフリー化の取組推進	・市民が移動しやすい車両導入の検討	【事業者】 ・路線バスへのノンステップバス導入検討の継続 ・ユニバーサルデザインタクシー導入にあたり、国へ補助金の交付申請を実施	△	・ノンステップバスで走行できない箇所の確認	継続		
⑨	鉄道路線間の連携	○			・南海本線とJR阪和線間を結ぶバス路線の機能強化	・利便性向上に向けたダイヤ検討	【事業者】 ・お客さまが利用しやすいダイヤの検討・実施	△	・路線再編については、拠点形成等と連動	継続		

○:実施又は進捗あり △:検討または一部進捗あり ー:進捗無し

★:岸和田市総合計画重点目標施策

目標③ 市内外の交流の活発化による住みやすく、訪れて楽しいまちを支援する公共交通体系の構築

施策		実施主体				令和6年度の実施計画		R6年度の取組状況	評価 (○△ー)	取組上の課題等	今後の 方向性	重点 施策
		市民	事業者	市	関係機関 その他	取組	実施計画・目標等					
⑩	都市計画道路泉州山手線等の道路整備の推進	○	○	○	・都市計画道路泉州山手線の道路整備による新たな広域連携の機能強化	・都市計画道路泉州山手線の事業推進	【市】 ・境界測量の実施、泉山協議会(3市1町)要望書提出	○	・境界測量における地図訂正、再立会、押印取得等	継続	★	
					・泉北高速鉄道と泉中央駅からの延伸促進	・泉北高速鉄道延伸事業化の推進	【市】 ・関係機関と協議を継続	○	－			
⑪	高速バスの利便性向上	○			・高速バス路線等の拡充検討	・他都市とのアクセス機能向上	【事業者】 ・岸和田-東京・川崎・横浜駅への高速バス運行中 ・四国、北陸方面の高速バスは運休中	△	・運転手不足	継続		
⑫	来訪者にとっても利用しやすい公共交通情報の充実	○	○	○	・来訪者も利用可能な企画乗車券等の導入	・スマートフォン等を活用した乗車券(モバイルチケット等)の導入	【事業者】 ・南海バス、南海ウイングバス全線有効の1日フリーパスを発売 ・令和6年9月からスマートフォンアプリを活用した定期券の販売を開始	○	・利用者への周知の継続	継続		

○:実施又は進捗あり △:検討または一部進捗あり ー:進捗無し

★:岸和田市総合計画重点目標施策

岸和田市交通まちづくりアクションプラン地域公共交通計画編 目標④の達成状況一覧表

基本理念:元気に生活・活動し、安全・快適に移動ができる交通インフラの形成

目標④ 市民・交通事業者・行政によるつくり・支え合う持続可能な公共交通の整備

施策		実施主体				令和6年度の実施計画		R6年度の取組状況	評価 (○△ー)	取組上の課題等	今後の 方向性	重点 施策
		市民	事業者	市	関係 その他 機関	取組	実施計画・目標等					
⑬	地域住民主体による持続可能な運行を支える協働の取組	○	○	○	○	・地域主体のあり方検討や交通手段導入サポート体制の構築	・地域主体による生活交通導入支援の仕組みづくり	【市】 施策⑤「新たなモビリティサービスの活用に向けた検討・導入」を参照			継続	★
						・自発的な公共交通利用の促進	・ナッジを活用した効果的な公共交通の利用促進手法の検討	【市】【事業者】 ・路線バス無料デーのチラシに効果的な公共交通利用の情報を掲載	○	・効果的な訴求方法の検討		
						・地域主体による持続可能な地域バスや乗合タクシー等の導入検討	・地域住民が主体となった交通システム導入の推進	【市】 ・地域主体による生活交通の導入を見据えて、市内2地区(黄金塚、春木・大芝)で実験運行を実施	○	・地域に見合った交通モードの検討 ・導入するにあたっての事例不足		
⑭	バス・タクシー乗務員の確保・支援	○	○	○		・交通事業者との連携による乗務員確保の取組	・バス・タクシー乗務員の確保へ向けた体験会等の実施および免許取得支援	【事業者】 ・南海バスと南海ウイングバスが共同で運転体験会を実施 ・自社ホームページ等で乗務員募集 ・普通自動車第二種免許、大型自動車二種免許の取得費用を会社負担(全額または一部) 【市】 ・市ホームページにて南海バス、南海ウイングバス株式会社の運転体験会案内ページを掲載	○	・岸和田市以南在住の体験会参加者が少ない ・行政等の連携による周知活動	継続	

○:実施又は進捗あり △:検討または一部進捗あり ー:進捗無し
★:岸和田市総合計画重点目標施策